

Hokusai Flamenco Fantasy

～葛飾北斎の浮世絵世界～

フラメンコの魅力は、嘆き、悲しみ、喜び、希望など人の思いをダイレクトに歌い上げるところにあります。今から約250年前の江戸に生きた葛飾北斎という稀代の浮世絵画家の作品から想を得、フラメンコ舞台を創りました。北斎といえば「この千年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」(USAライブ誌)に日本人唯一のランク入りをした人物。生涯3万点を超える膨大な意欲作を残した作家です。彼の生涯を知れば知るほど、モダンかつ独創的でタフな生き方に惹かれるのです。版画・肉筆浮世絵画の両方に傑出した天才絵師の地位は、「富嶽三十六景」発表により不動



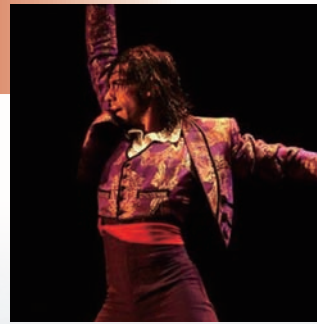
平 富恵(たいら よしえ) [バイレ]

小松原庸子スペイン舞踊団出身。NHK教育をはじめTVやCMなど多方面で活躍。02年第1回CAFフラメンココンクール優勝。03年第43回カンテ・デ・ラス・ミナス国際コンクールにて日本人初のセミファイナル進出。審査委員長特別賞受賞。10年平富恵スペイン舞踊公演「エル・スエニョ II」にて、平成22年度(第65回)芸術祭賞受賞。以降「SHAMBHALA MOON」「Zodiac」「真夏の夜の夢」「FLAMENCO FLAMENCO」「RyojinHisho」など意欲作を発表。文化庁プログラム「文化芸術による子供の育成事業巡回公演」に選出され、スペイン舞踊普及活動を積極的に展開。

となり、ゴッホなど海外の印象派画家や工芸家、音楽家たちにも“ジャポニズム”として多大な影響を与えました。

江戸時代は、文化が花開き、多くの庶民層が繁栄を謳歌できるようになりました。人々がこの世に生きる愉しみを実感し、つかの間の仮の世だからこそ浮き浮きと過ごそうという「浮世」という思想が生まれます。この利那の「浮世」思想を背景とした北斎作品を当時の“今様”(『現代風の』という意味)とみなし、その形式に囚われない、溢れる大衆パワーの中に、まさにフラメンコ発生の歴史と重なるジブシー性を見出しました。北斎の目を通して描かれた大衆の心に想いを馳せ、11のフラメンコ演目にまとめました。絵のエッセンスはそのままに、オリジナル楽曲・日本語カンテにて新たなフラメンコを創造。「赤富士」「神奈川沖浪裏」など有名作品の他、世界に是非紹介したい知られざる究極の作品も取り上げます。

ゲストには、スペイン現代フラメンコギターの最高峰アントニオ・レイと、名実共に今最も注目の男性舞踊家エドゥアルド・ゲレロを招き、国内からは、若き津軽三味線の覇者浅野祥、音楽監修に日本人カンテの第一人者石塚隆充を迎え、素晴らしいアーティストたちが集結いたします。どうぞご期待下さい。



エドゥアルド・ゲレロ [バイレ]

スペイン舞踊、コンテンポラリー、クラシックバレエ全般を学ぶ。2002年よりアイダ・ゴメス、エバ・ジェルババエナ他多数のカンパニーで活躍。2013年ラ・ウニオン・コンクール舞踊部門で優勝。国内外で公演・教授活動に招かれ活躍。自身の最新作「GUERRERO」の発表により、現代フラメンコシーンにおいて最も重要な舞踊家として不動の地位を獲得。本年ヘレスフェスティバルでは、観客賞を受賞し大成功をおさめる。



石塚 隆充 [音楽監修・歌手]

本場スペインにて「日出ずる国のカンタオール」に賞賛される実力派。他ジャンルの一流演奏家との共演多数。近年作曲・編曲・音楽監修において高評価を得ている。昨年の平富恵スペイン舞踊団公演「RyojinHisho～梁塵秘抄の世界～」では総合音楽監修を担当し、成功をおさめる。



アントニオ・レイ [ギター]

超一流のテクニックと音楽性で名実ともに現在スペインのトップギタリスト。アントニオ・カナレス、ファルキート等一流アーティストの伴奏を担当。コルドバ、ラウニオン、ムルシア、ヘレスなどスペインの名譽ある数々のギターコンクールにて優勝。2012年セビリアのビエンアルフラメンコフェスティバルでは、ヒラルデージョ賞受賞。今年自身のアルバム「Two parts of me」を発表。現在は、トップアーティストとして世界各国に招かれ演奏活動を展開。



浅野 祥 [津軽三味線]

04年津軽三味線全国大会最高峰A級 最年少優勝(14歳)。その後3連覇し同大会殿堂入りを果たす。圧倒的な演奏力と豊富な表現力は天才と称され07年ビクターより「祥風」でメジャーデビュー。今年1月「忠治が泣いている」(徳間ジャパン)にて歌手デビューを果たす孤高の若き津軽三味線奏者。



永田 健 [バイレ]

アントニオ・アロンソ舞踊学校、アルバ舞踊団出身。13年ANIF新人公演奨励賞受賞。平舞踊団公演「真夏の夜の夢」などに主要メンバーとして好演。



久保田 晴菜 [バイレ]

幼少より短期渡西留学をする。一昨年平舞踊団公演「真夏の夜の夢」、昨年「RyojinHisho」に出演、活躍する。



河野 陸 [バイレ]

フラメンコ教室AZUCENA主宰。他分野との共演や振付構成も多数。17年ソロサイト「El Caleidoscopio～万華鏡 vol.2」を東京にて開催。



岡村 知美 [バイレ]

阿藤久子に師事。教授活動と共に神戸のタブラオに出演。数回の渡西ではフアナアマジャラに師事。本年より拠点を東京に移し活動を展開。

◎平 富恵スペイン舞踊団



平尾 華子



稲葉 由希子



菊池 和緒子

豊富な舞台経験を持ち、スペイン舞踊全般をレパートリーとする。主要メンバー 平尾華子、稲葉由希子、菊池和緒子、若手団員たちは、日々平富恵の厳しい指導のもと研鑽を重ねている。



奥本 めぐみ [歌手]

09年NYC留学。11年第12回神戸ジャズボーカルコンテスト準グランプリ受賞。16年ANIF新人公演準奨励賞受賞。現在オリジナル曲と、カンテの両軸で精力的に活動中。



柴田 亮太郎 [ギター]

95年よりスペインに5年間留学。スペイン各地で演奏活動をし帰国後、数々のアーティストの公演やレコーディングにて演奏、楽曲提供を行う。



海沼 正利 [パーカッション]

ノンジャンルで活躍するマルチパーカッショニスト。カリビアングループ「Tumba Créole」や様々なライブプロジェクトを主催し、一方で多数のグループに在籍している。



平松 加奈 [バイオリン]

フラメンコやラテンジャズを中心に活動。ディエゴカラスコ、アントニオカネルスらと共演。14年三谷幸喜脚本のNHK人形劇「シャロックホームズ」の劇伴音楽を担当。



能重 葉山



大林 薫

[主 催] 有限会社マジスティック
 [構成・演出・振付] 平 富恵
 [振 付] エドゥアルド・ゲレロ
 [音楽監修] 石塚 隆充
 [舞台監督] 浅沼 信夫 (株式会社ザ・スタッフ)
 [音 響] 甲谷 享嗣 (東京音研)
 [照 明] 喜多村 貴 (有限会社劇光社)
 [日本語歌詞監修] 浦野 興治
 [デザイン] 佐藤 多加志 (デザインサルト)
 [衣 装] 安楽 きわ、Yuha、山田 南里、ロサリア

当日ご来場のお客様に、グリコ商品を進呈いたします。



チケットお申込み・お問合せ先 (有)マジスティック TEL&FAX.03-3905-7900 (月~木 10:00~17:00)

Email : info@girasolflamenco.com web : www.girasolflamenco.com [料金]5席 : 9,000円 A席 : 8,000円

振込口座 : 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 普通1602137 ユウゲンガイシャ マジスティック

■東京メトロ
 半蔵門線「水天宮前」駅 6番出口から徒歩2分
 日比谷線「人形町」駅 A2出口から徒歩5分
 東西線「茅場町」駅 4-a出口から徒歩10分
 ■都営地下鉄
 浅草線「人形町」駅 A3・A5番出口から徒歩7分